



地球のうら側まで通いあう心と心

国際社会に貢献できる教養や人間性を養い、国際人として活躍できる人材を育てます。

海外修学旅行



現地の学校の生徒との交流や、文化等の体験学習を行います。

自分たちで創った台湾修学旅行 3年 古田 桃子 さん(帝塚山中学校)

私は、修学旅行のしおりを貰ったとき表紙に書いてあった～自分たちで創る4Days Trip～という文字を見て、楽しみが増した反面少し不安になりました。先生たちの信頼に応えられるか、海外でしっかり自分たちで行動できるのか、正直心配でした。だけど、ツアー会社並みにぎつりと詰まった行程表のおかげで先を考えて行動できたし、きつと倍楽しめた気がします。

姉妹校の国立鳳新高級中学校の生徒さんたちは、本当に温かく迎えてくださって、音楽班の子たちとゲームをしたり、古楽器を体験させてもらったりして、時間はとても短かったけれど、一生の思い出になりました。クラスの仲の良さとか、テンションの高さなど、どこか私たちと通じるものがあり、交流できてとても楽しかったです。

この修学旅行には、本当にたくさんの出会いがありました。また、大好きなクラスメイトとおしゃべりしたり、リズムゲームをしたり、いつもと違う一面が見えて、みんなのいろんな価値観を知ることができました。修学旅行を通じて絆が深まり、みんなは家族のような存在だと改めて感じました。修学旅行は私にとって、一生忘れられない大切な思い出です。



ニューヨーク語学研修



ホームステイをしながら現地の学校に通い、英語の授業を受けたり、さまざまな文化体験をします。

語学研修は隔年で実施しており、2019年度が第11回目となります。第9回目からは行先をニューヨークとし、3月に実施しています。本校と姉妹校提携を結んでいるニューヨークのクラークスタウン北高校にて学習・交流を行っています。

アメリカでの直接体験を通して英語発力を向上させるとともに価値観の変容を経験すること、国際的視野をもち社会の変化に対応できるグローバル人材としての資質を養うことを目的としています。

3年 洲澤 稜大 さん(東大阪市立意岐部中学校)

私は中学の頃から世界に関心があり、NY研修はこの夕陽丘高校を選ぶきっかけの一つでした。この研修を通して、日本とは異なる社会を見ることで改めて自分の住み慣れた国の社会問題や、国際情勢に強く興味を持つようになりました。これほど自分を成長させてくれたNY研修への参加を認めてくれた家族には感謝しかありません。



海外からの留学生の受け入れ



毎年長期・短期留学生を受け入れています。これまで、アメリカ、フランス、オーストラリア、中国など21か国から留学生を受け入れています。

Lisa Suzanne Monique MENETRIER さん

(フランスからの留学生)

子供の時から日本のことに興味があったので、1年間の留学をしようと思いました。最初は、日本語が全然わからず日本の文化もわかりませんでした。他の留学生たちと毎週1回日本語教室で先生たちに教えてもらったり相撲などにも連れて行ってもらったりしました。初めてでとても面白かったです。夕陽丘高校の生徒のみんなも優しくしてくれて、いつもすごく楽しいです！柔道部にも入りました。夕陽丘高校に来てよかったと思います。みんなのおかげでいい思い出を作ることができました！ありがとうございます。



海外の学校との交流



毎年、さまざまな国の学校が本校を訪れています。アメリカ・ニューヨークのクラークスタウン北高校と台湾・国立鳳新高級中とは姉妹校提携をしています。



国内最高レベルの音楽教育を

専攻

声楽・ピアノ・ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス・フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴット・トランペット・ホルン・トロンボーン・チューバ・小太鼓・マリンバ

主な行事

●定期演奏会

日頃の授業の成果を年に1回、外部のホール(今年度はザ・シンフォニーホール)で発表します。

●特別公開講座

著名な音楽家を招聘し、演奏会や講演・レッスンをを行います。



笛田博昭氏(テノール)による《心に響く魂の歌!》



宮田大氏(チェロ)とジュリアン・ジェルネ氏(ピアノ)による《二重奏の魅力》

ウィーン在住の一流音楽家による個人レッスン、現地の音楽学校との交流演奏会、楽友協会ホール・教会での演奏会などを体験します。

ウィーン音楽研修

我が夢の街 3年 井上 弘也 さん(吹田市立古江台中学校)

ウィーン音楽研修旅行での楽しみと緊張が混ざった複雑な気持ち。そんな僕達には、まさに夢のような長いようで短い7泊9日が待っていました。個人レッスン、ウィーン・ザルツブルク観光、三度の演奏会など、一つ一つのことすべてに衝撃を受け、たくさん学ぶことが出来ました。特に先輩の情報で何度も耳にしてきた黄金のホールとも言われる楽友協会ホールは、入ったときの歴史を感じる内装に心を奪われましたが、それ以上に、舞台上で歌った瞬間の音の響きの素晴らしさに気持ちが高揚していき、拍手すら覚えていないほど無我夢中になっている自分がいました。2年前の自分は、心の底から楽しめる自信がなかったのに、違う意味で想像していなかった未来になって嬉しく思いました。この音楽研修は、先生方や添乗員の方々、ウィーンの地元の方々、一緒に音楽研修に行った友、そしてたくさんの人の支えがあって成功することが出来ました。また参加させてくれた家族には本当に感謝しています。もう一度ウィーンに戻りたいと思ってしまうほど貴重な経験は、僕達にとっても“心のふるさと”となる音楽研修旅行になりました。



今峰由香氏(ピアノ)による《レッスンと講話》



バジル・クリッツァー氏による《アレクサンダー・テクニクのレッスン》

●ピッコロコンチェルティスタ

年に3回、校内のヴィオラホールで学内演奏会を行います。

●その他アウトリーチ活動

近隣のマンション、幼稚園、病院などでコンサートを行います。



楽友協会ホール



シェーンブルン宮殿